



各位

上場会社名 株式会社 ニレコ  
 代表者 代表取締役社長 山田 秀丸  
 (コード番号 6863)  
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理部門担当 長塚 寛  
 (TEL 042-642-3111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,400	0	0	0	—
今回発表予想(B)	2,900	△140	△140	△90	△12.32
増減額(B-A)	△500	△140	△140	△90	
増減率(%)	△14.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	3,970	187	217	△242	△26.62

## 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、昨年秋以降の世界的金融危機の影響が依然として継続しており、当社の主要取引先においても設備意欲の減退による需要減少が予想以上に大きくなっております。

プロセス事業における主要取引先である鉄鋼業界では、国内においては自動車向け鋼板などの一部において在庫調整が進んだものの本格的な設備投資の回復には至っておりません。また、海外においては中国やインド市場に対する販売活動を積極的にこなっており、受注に至るものもありますが、それらは第3四半期連結会計期間以降の売上高となるものであります。

ウェブ事業における主要取引先である高機能フィルム業界においても、フラット・パネル・ディスプレイの生産が増加に転じたものの、本格的な設備投資意欲の回復は第3四半期連結会計期間以降とみられます。

検査機事業においては、電子機器業界向けに新型機の投入などをおこなってきたものの、やはり設備投資停滞からの回復は遅く、明確な売上高の増加は第3四半期連結会計期間以降とみられます。

このように、受注環境の改善が当社が予想していた時期よりも遅れている事などから、当第2四半期累計期間の売上高は前回公表いたしました予想値を下回る見込みです。

また、利益面におきましても、徹底した経費削減施策の実施などにより、収益性の改善に努めたものの、売上高の減少分を補う事は困難であり、前回公表いたしました予想値を下回る見込みです。

従いまして平成21年5月20日に公表いたしました業績予想を達成することが困難であると判断し、第2四半期累計期間の連結業績予想を修正することといたしました。

通期業績予想につきましては、現時点では第3四半期連結会計期間以降における受注環境の改善を見込んでいることより、平成21年5月20日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正が必要と判断される場合は、速やかに公表することといたします。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想と異なる結果となる可能性があります。

以上